

2025 年度決算について

2026 年 4 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2025 年度[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、販売電力量が減少したことなどにより、前年度比 4,818 億円減の 6 兆 3,285 億円となりました。

経常損益は、販売電力量が減少したものの、燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことに加え、継続的な収支改善に努めたことなどにより、前年度比 1,628 億円増の 4,173 億円の利益となりました。

また、特別利益に関係会社株式売却益を 1,030 億円、原賠・廃炉等支援機構資金交付金 818 億円を計上した一方、特別損失に災害特別損失 9,138 億円、原子力損害賠償費 827 億円を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損益は 4,542 億円の損失となりました。

(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
売上高	63,285	68,103	△ 4,818	92.9
営業損益	3,376	2,344	1,032	144.0
経常損益	4,173	2,544	1,628	164.0
特別損益	△ 8,117	△ 557	△ 7,560	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 4,542	1,612	△ 6,155	—

【セグメント別の経常損益】

2025 年度のセグメント別の経常損益については、以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、受取配当金が増加したことなどにより、前年度比 1,796 億円増の 1,289 億円の利益となりました。
- 東京電力フュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERA において燃料調達価格影響や海外・再エネ発電事業利益が増加したことなどにより、前年度比 256 億増の 833 億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用が減少したことなどにより、前年度比 267 億円増の 817 億円の利益となりました。

- ・ 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、販売電力量が減少したことや、調達単価が増加したことなどにより、前年度比 329 億円減の 2,549 億円の利益となりました。
- ・ 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、卸電力販売が減少したことなどにより、前年度比 132 億円減の 403 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	比 較	
			A-B	A/B (%)
経 常 損 益	4,173	2,544	1,628	164.0
東京電力ホールディングス	1,289	△ 507	1,796	—
東京電力フュエル&パワー	833	577	256	144.4
東京電力パワーグリッド	817	549	267	148.8
東京電力エナジーパートナー	2,549	2,879	△ 329	88.6
東京電力リニューアブルパワー	403	536	△ 132	75.3

【2026 年度業績予想】

2026 年度の業績予想については、現時点において中東情勢等の影響を受け、燃料価格等の見通しが不透明であり、具体的な業績予想をお示しできる状況にないことから、未定としております。今後、お示しできる状況となった段階で、お知らせいたします。

以 上

添付資料

- ・ [決算概要](#)

参考資料

- ・ [2025年度における経営効率化の実施状況](#)

- ・ 「決算短信等」については[こちら](#)をご覧ください。
- ・ 「特別損益の計上に関するお知らせ」については[こちら](#)をご覧ください。